

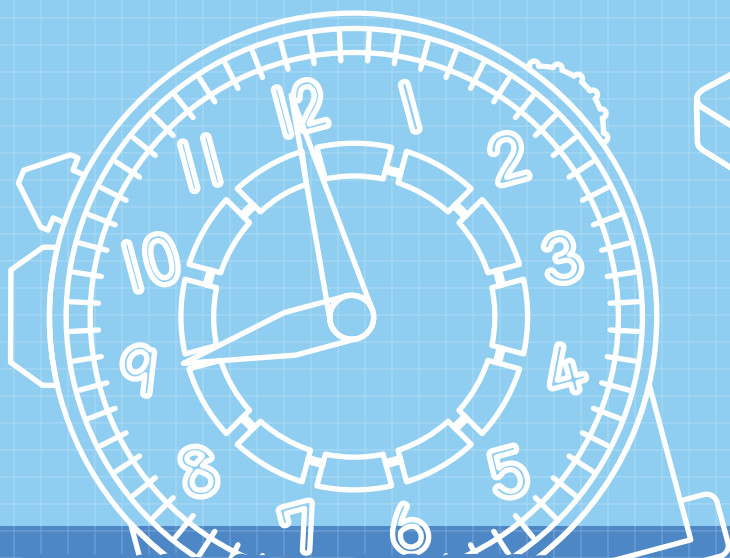
3-0447 啓

たのしい

さんすうらんど

活用マニュアル

単元と各教材の対応表つき



学習指導に役立つ情報満載！

ぶんけい まなびじゅある

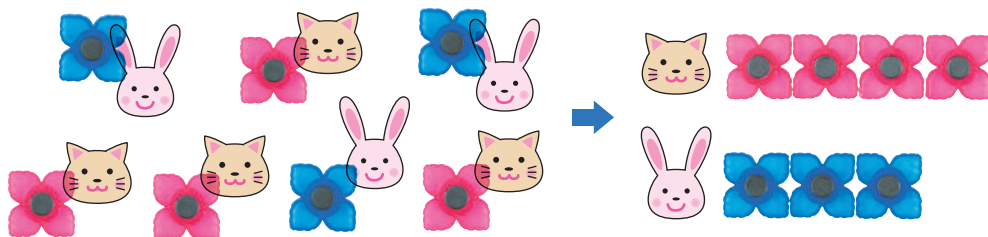
検索



ぶんけい

●導入

おはじきと教科書などのイラストを1対1に対応させます。 おはじきを並べて数を比べます。



Point

2色のおはじきを使うと、数が比べやすくなります。

① かずと すうじ

(1) 10までの数をおはじきに置きかえて数を数えます。



(2) 音の数だけおはじきを並べます。



② なんばんめ

(1) 「左から8マス目に赤いおはじきを置きましょう。」



(2) 「赤いおはじきは右から何マス目でしょうか。」



Point

左右だけでなく、上下に関わる順序や位置も考えましょう。



③ いくつと いくつ

「6」「7」「8」「9」「10」がそれぞれいくつといくつになるかを考えます。

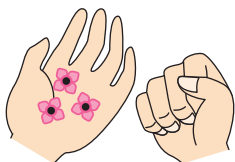
(1) 手を使って

「あといくつで7になるでしょう。」

(2) おはじきケース(※)を使って

「6は2と□」

「6は□と4」



Point

フタを動かして隠す部屋を変えることができます。



▼詳しくはコチラ



先生のお悩み
ホットライン

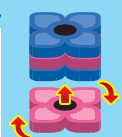


おはじきを片付ける
とき、磁石が反発し
てしまい收拾がつか
ません...

ふんけいのおはじき
は、どちらの面でも
くっつきやす片付
けに便利で、先生方
にも大変好評です。



▼詳しくはコチラ



数図ブロック (I)

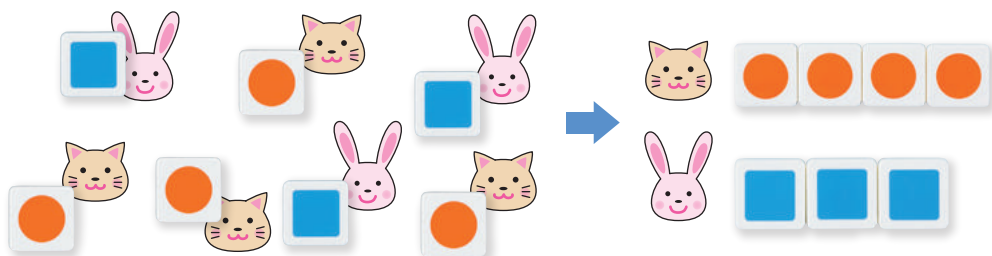
単
元

●導入
①かずと すうじ

②なんばんめ
③いくつと いくつ

●導入

ブロックと教科書などのイラストを1対1に対応させます。 ブロックを並べて数を比べます。



Point

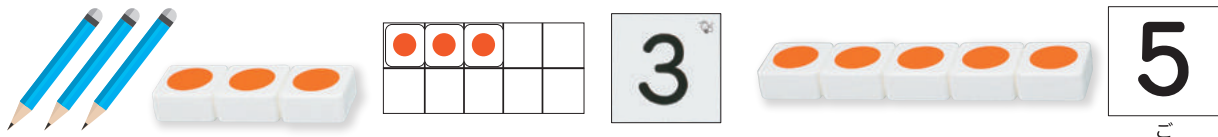
ブロックの表裏を使うと、数が比べやすくなります。

① かずと すうじ

用意するもの ●数図カード(※) ●数字カード(※)

(1) 具体物、ブロック、数図カード、数字カードをそれぞれ対応させます。

(2) 教科書を参考に数字の読み書きをします。



② なんばんめ

(1) 「左から3個目を裏返ししましょう。」

(2) 「青いブロックは右から何個目でしょうか。」



(3) 「左から3個を裏返ししましょう。」

(4) 「青いブロックは右から何個あるでしょうか。」



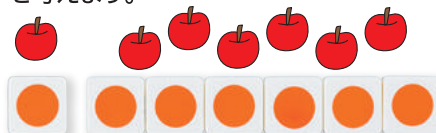
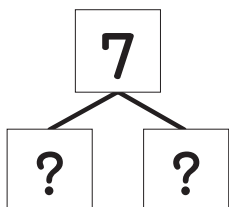
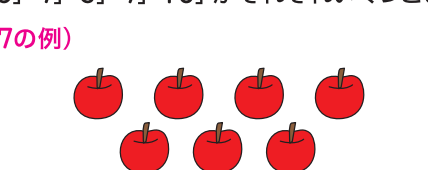
Point

左右だけでなく、上下に關わる順序や位置も考えましょう。

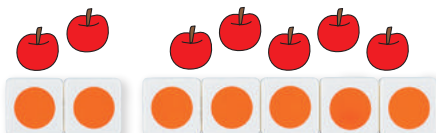
③ いくつと いくつ

「6」「7」「8」「9」「10」がそれぞれいくつといくつになるかを考えます。

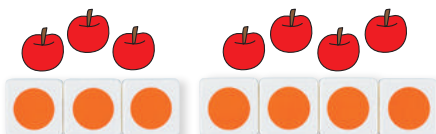
(7の例)



1と6



2と5



3と4

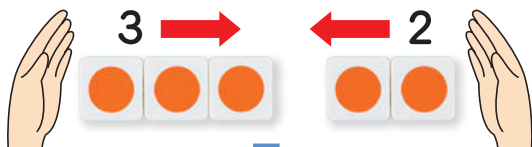
⋮

⑥ たしざん(1)

ブロックを使って、①②のたしざんを考えます。

①あわせていくつ

「3と2を合わせると、5になります。」



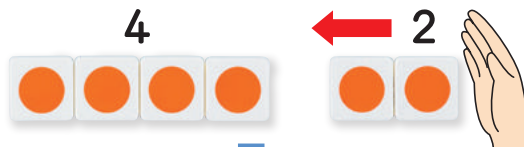
↓ 合わせると



$$3 + 2 = 5$$

②ふえるといくつ

「4あります。2増えると、6になります。」



↓ 増えると



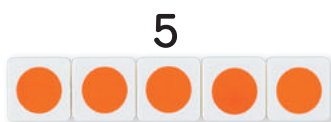
$$4 + 2 = 6$$

⑦ ひきざん(1)

ブロックを使って、①②のひきざんを考えます。

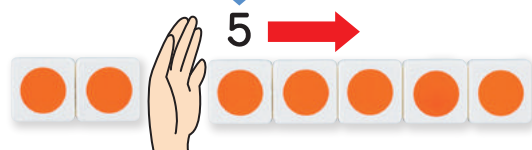
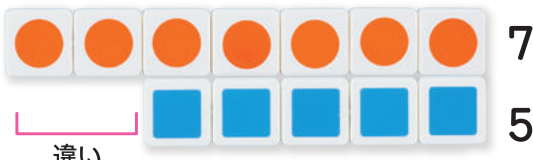
①のこりはいくつ

「5から2をとると、3になります。」



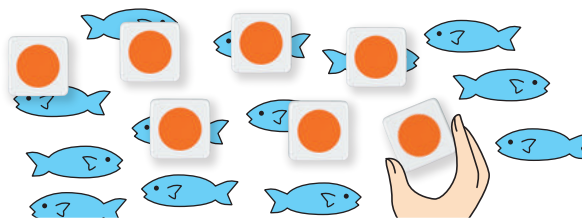
②ちがいはいくつ

「7と5の数の違いは2になります。」



⑧ 20までの かず

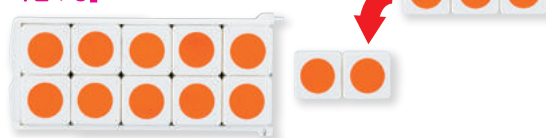
①教科書などのイラストを使って、20までの数を数えます。



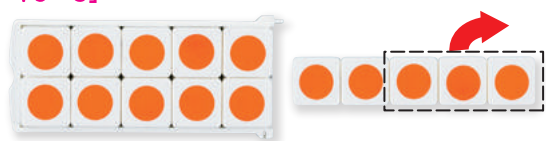
10と3で13です。

②20までの数のたしざんとひきざんを考えます。

「12+3」



「15-3」



Point

専用の皿を使うと、10のかたまりが分かりやすいです。

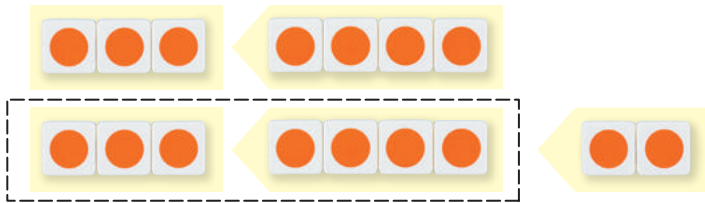
数図ブロック (3)

単元

⑪3つの かずの けいさん ⑭ひきざん(2)
⑫たしざん(2)

⑪ 3つの かずの けいさん

ブロックを動かしながら、式を考えます。



$$3 + 4$$

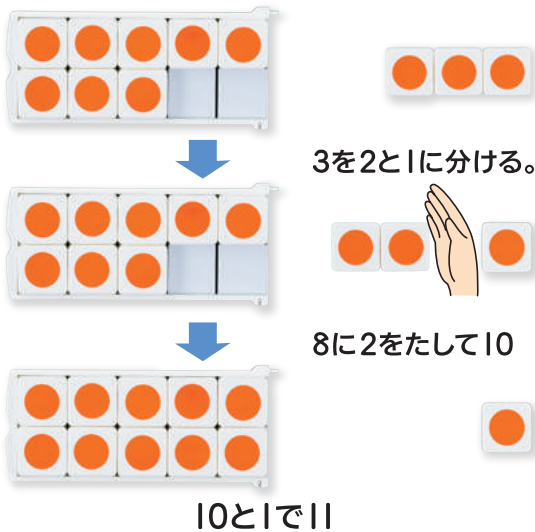
$$3 + 4 + 2$$

Point

初めのうちは教科書などの具体的なイメージに合わせてブロックを動かしましょう。

⑫ たしざん(2)

「8+3」の計算のしかたを考えます。



10と1で11

Point

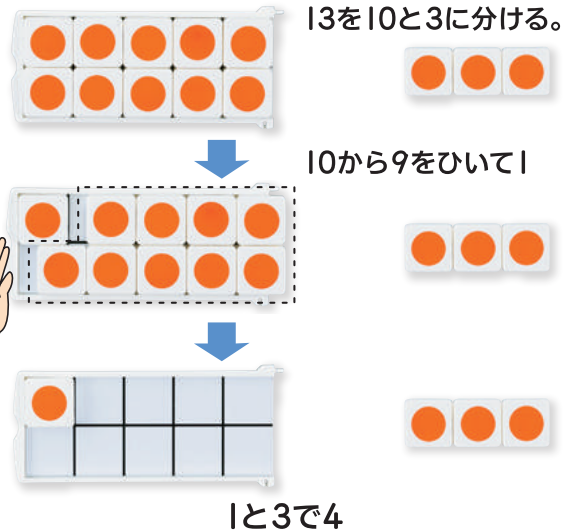
10のまとまりをつくるよう工夫します。

(1)「8+3」の計算(3の分解) (2)「4+8」の計算(4の分解)
※上参照

$$\begin{array}{r} 8 + 3 \\ \quad \quad \quad \swarrow \downarrow \\ \quad \quad \quad 2 \quad 1 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 + 8 \\ \quad \quad \quad \swarrow \downarrow \\ \quad \quad \quad 2 \quad 2 \end{array}$$

⑭ ひきざん(2)

「13-9」の計算のしかたを考えます。



1と3で4

Point

10のまとまりをつくるよう工夫します。

(1)「13-4」の計算(13の分解) (2)「13-4」の計算(4の分解)
※上参照

$$\begin{array}{r} 13 - 4 \\ \quad \quad \quad \swarrow \downarrow \\ \quad \quad \quad 10 \quad 3 \end{array} \quad \begin{array}{r} 13 - 4 \\ \quad \quad \quad \swarrow \downarrow \\ \quad \quad \quad 3 \quad 1 \end{array}$$

▼詳しくはコチラ



「13-6」の計算の例

①ブロック皿を連結し、ブロックを並べます。



②ブロック皿を分割し、10と3に分ける。



③10から6をひいて4



④ブロック皿を連結し、4と3で7



先生のお悩み
ホットライン



ブロック皿を使った
効率の良い指導法は
ありませんか？

先生

ぶんけいの皿は連結
できます。ブロック
をスムーズに動か
せるので体感的に理
解が深まる指導が期
待できます！



ぶんけいサポーター

数字・数図カード (I)

単元

① かずと すうじ

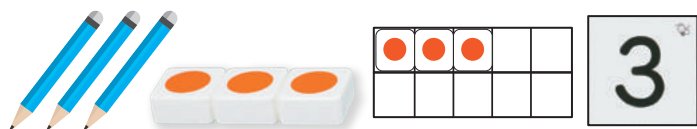
③ いくつと いくつ

⑥ たしざん(I)

⑦ ひきざん(I)

① かずと すうじ

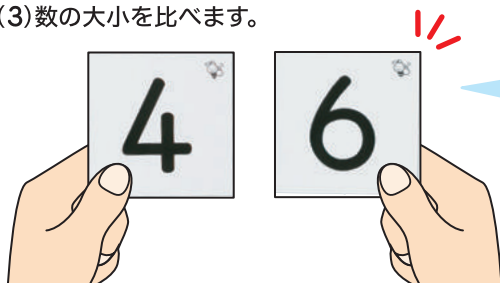
(1) 具体物、ブロック、数図カード、数字カードをそれぞれ対応させます。



(2) 数字カードを順に並べます。



(3) 数の大小を比べます。



Point

数字カード同士だけでなく、数図カードを混せて比べてみましょう。

Point

カードを裏返しにし、隠れている数を考えましょう。

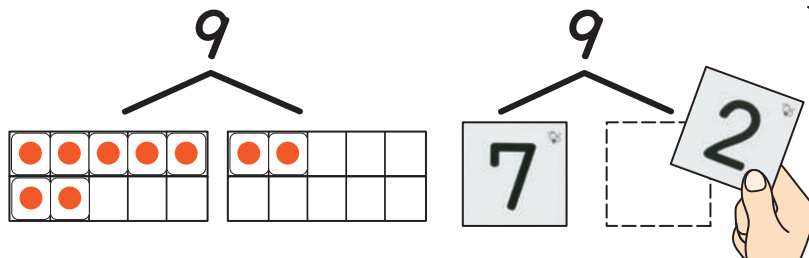
Point



の位置でカードの上下を判別できます。特に「6」と「9」は注意しましょう。

③ いくつと いくつ

数図カードや数字カードを使って数をつくります。



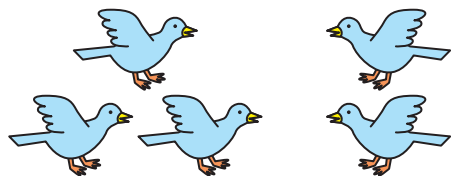
あといくつで10になるかな？

4



⑥ たしざん(I)

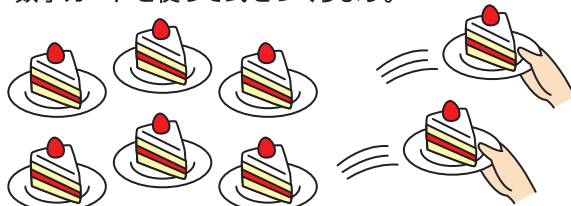
数字カードを使って式をつくります。



「 3 たす 2 は 5 」

⑦ ひきざん(I)

数字カードを使って式をつくります。



「 8 ひく 2 は 6 」

Point

式を読ませるようにしましょう。

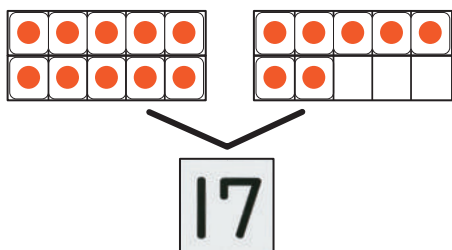
数字・数図カード (2)

単元

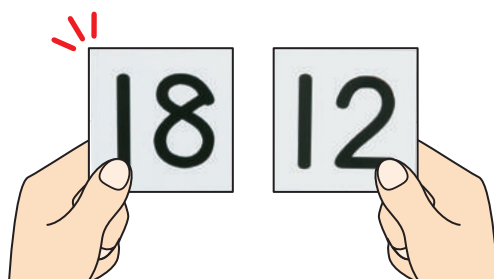
⑧ 20までの かず ② 大きさをくらべ(2)
⑪ 大きい かず

⑧ 20までの かず

(1) 10をもとにした合成・分解をします。 (2) 数字カードを順に並べます。



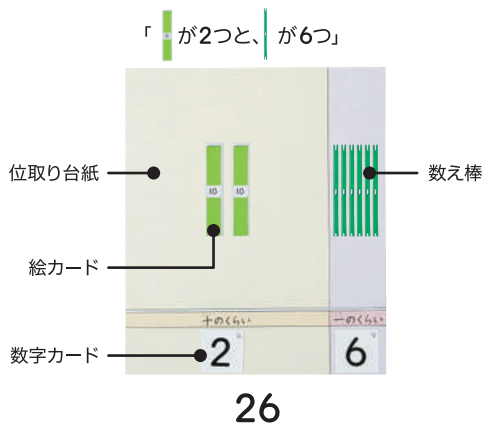
(3) 数の大小を比べます。



⑪ 大きい かず

用意するもの ● 数え棒(絵カード)(※) ● 位取り台紙(※)

数字カードを並べて、数の表し方や構成を理解します。

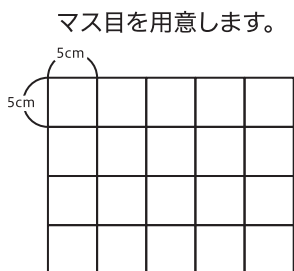


Point

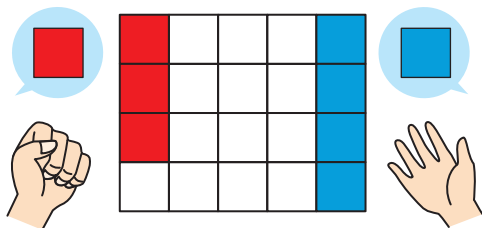
一の位に数え棒がなくても「0」が必要になることをおさえましょう。

② 大きさをくらべ(2)

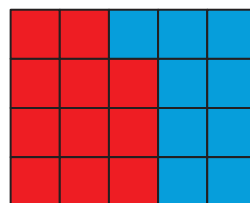
数字カードの裏面の色板(赤/青)を使います。



じゃんけんで勝った方が、色板を1枚並べます。



どちらが広いかを比べます。広い方の勝ちです。



数え棒 (I)

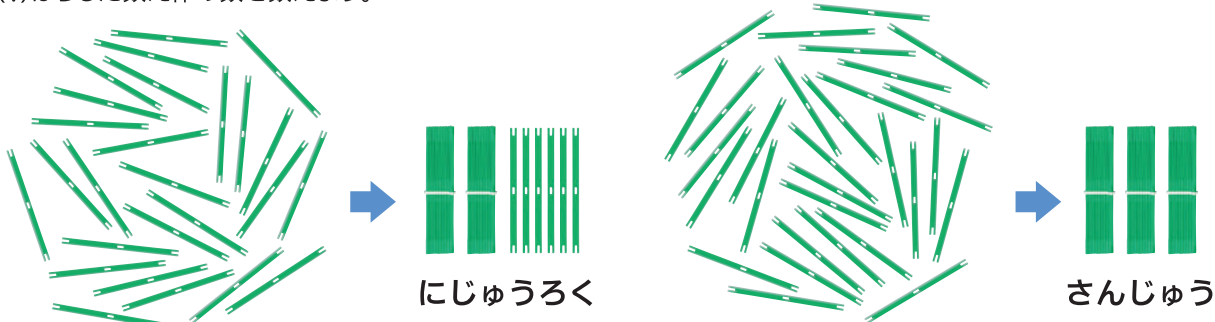
単元

⑰ 大きい かず

⑲ 100までの かずの けいさん

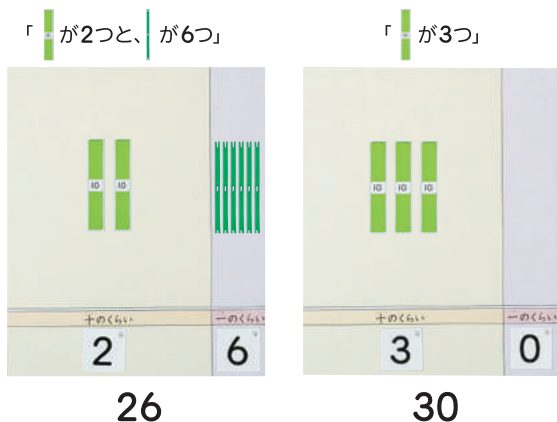
⑰ 大きい かず

(1) ばらした数え棒の数を数えます。



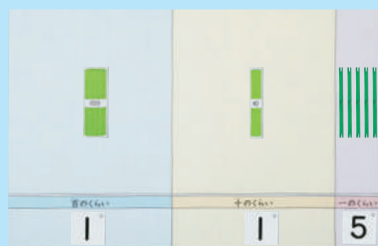
Point 10のまとまりをつかって数えるようにしましょう。

(2) 数え棒を並べ、数の表し方や構成を理解します。 用意するもの ●位取り台紙(※) ●数字カード(※)



Point

100を超える数は
100の絵カードを
使いましょう。

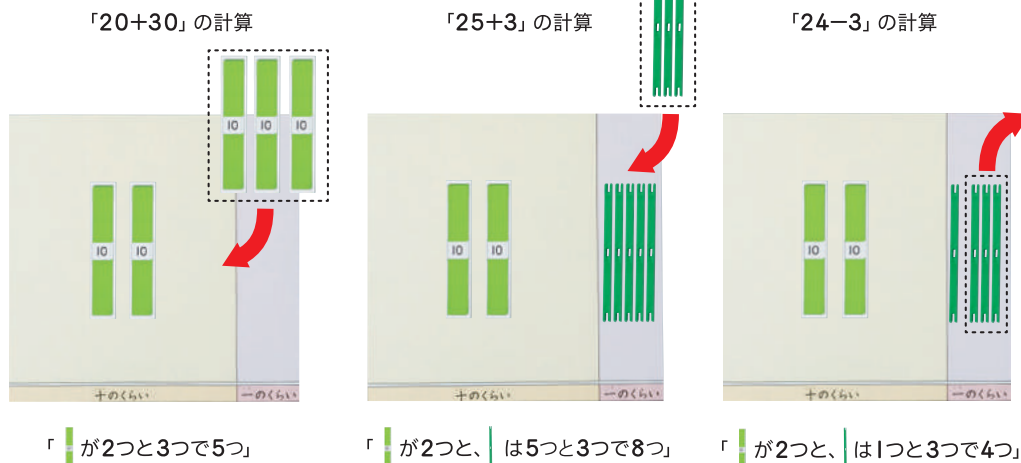


Point

一の位に数え棒がなくても「0」が
必要になることをおさえましょう。

⑲ 100までの かずの けいさん

計算のしかたを考えます。

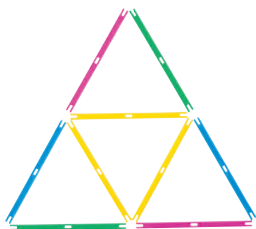
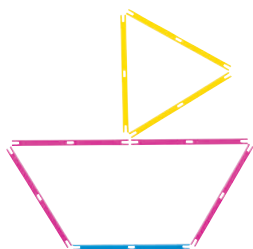


Point

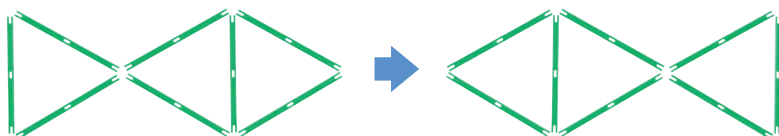
どの位を計算
するかを明確
にするため、
位取り台紙を
使うと分かり
やすいです。

⑬ かたちづくり

(1)いろいろな形を作ります。

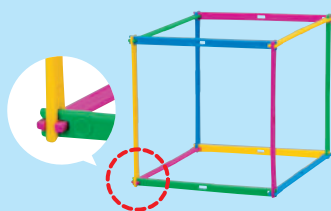
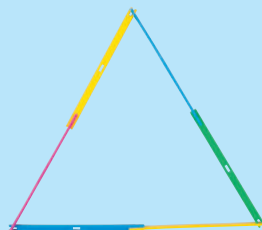


(2)数え棒を動かして、形を変えましょう。



Point

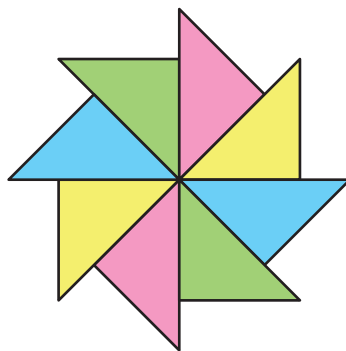
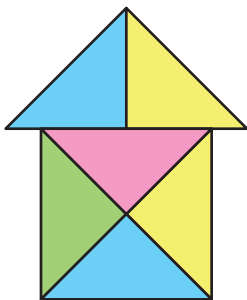
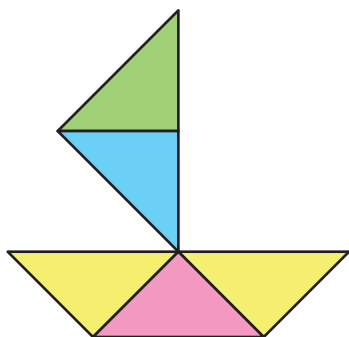
数え棒の端を組むと、平面作りや立体作りができます。



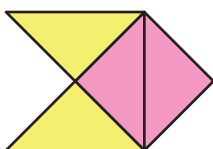
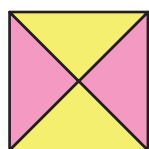
色板

⑬ かたちづくり

(1)教科書などを見て、いろいろな形を作ります。



(2)色板を動かして、形を変えましょう。



Point

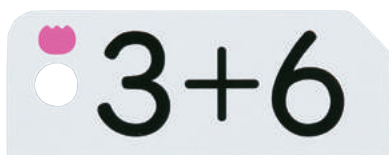
学習板を使うと固定できます。
どんな形ができたか、みんなで
見せ合いましょう。

計算カード

単元

⑥たしざん(1) ⑫たしざん(2)
⑦ひきざん(1) ⑭ひきざん(2)

★4種類の計算カード たしざん(1) ひきざん(1) たしざん(2) ひきざん(2) を使って、各単元ごとに様々な方法で繰り返し練習しましょう。



< 表 >

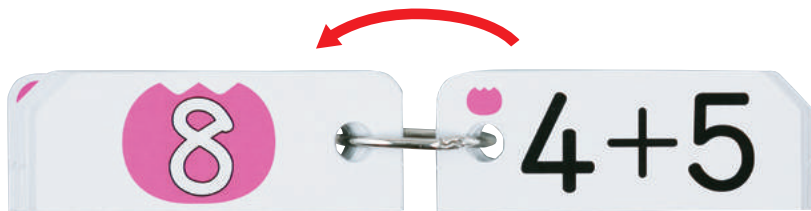


< 裏 >

Point

の向きでカードの上下を判別できます。特に「6」と「9」は注意しましょう。

(1)カードをめくって練習します。



Point

慣れてきたら、リングを外して順番を並び替えて練習しましょう。

(2)カードを並べて気付いたことを言います。

い

あ

○1+1	○2+1	○3+1	○4+1	○5+1	○6+1	○7+1	○8+1	○9+1
○1+2	○2+2	○3+2	○4+2	○5+2	○6+2	○7+2	○8+2	
○1+3	○2+3	○3+3	○4+3	○5+3	○6+3	○7+3		
○1+4	○2+4	○7	○8	○9	○6+4			
○1+5	○2+5	○3+5	○4+5	○5+5				
○1+6	○2+6	○3+6	○4+6					
○1+7	○2+7	○3+7						
○1+8	○2+8							
○1+9								

あ … 加数が1ずつ変化している。

い … 被加数が1ずつ変化している。

う … 答えが同じ。

Point

カードの一部を裏返し、どんな式が入るかを考えます。

(3)同じ答えのカードを集めます。

用意するもの ●仲間集めシート(※)

なかまあつめ しいと ① (おなじ こたえのかあどをわけましょう。)

1 ○2-1 ○3-2 ○4-3	2 ○3-1 ○4-2	3 ○4-1	4	5
6	7	8	9	10

たしざん ひきざん ひきざん のかあどをつかきましょう。

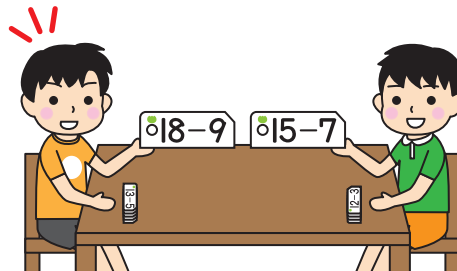
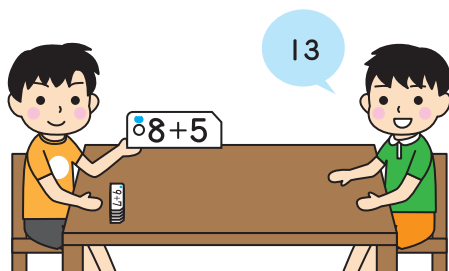
Point

答えが同じカードを集めたり、並べたりして気付いたことを発表するようにしましょう。

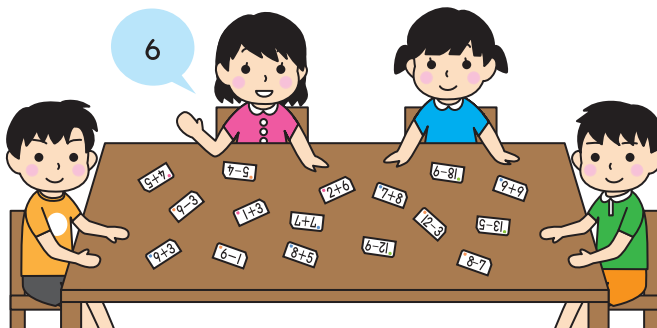
● たしざん(1) ひきざん(1) ひきざん(2) は「なかまあつめ しいと①」を使い、
たしざん(2) は「なかまあつめ しいと②」を使います。

(4) 2人1組で、1人がカードを出し、もう1人が答えを言います。

(5) 2人1組で同時にカードを出し、答えを比べます。



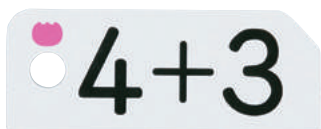
(6) 1人が数を言い、それが答えになるカードを取ります。



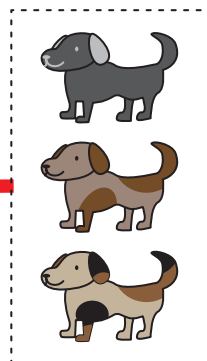
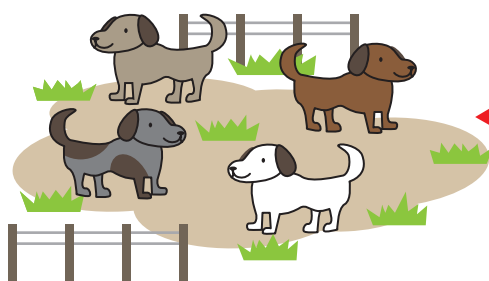
Point

慣れてきたら、同じ種類のカードだけでなく、異なる種類のカードも混ぜて(4)～(7)を学習してみましょう。

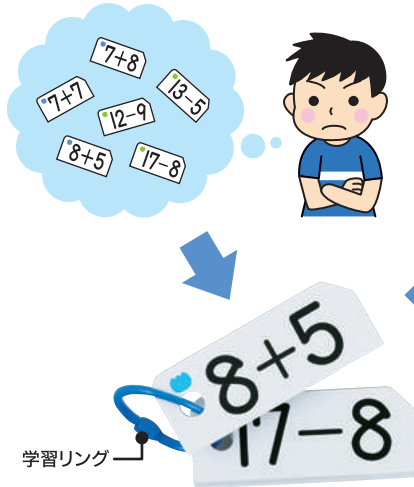
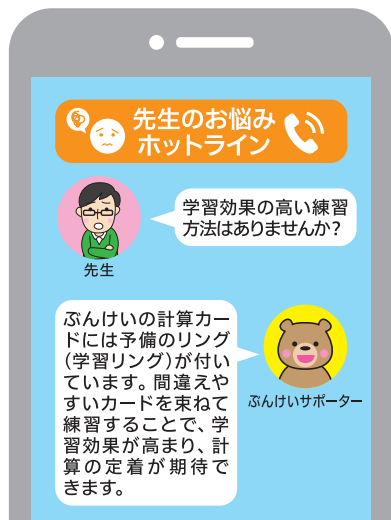
(7) カードを使ってお話しづくりをします。



「空心地に犬が4匹います。
3匹やってきました。
全部で7匹になりました。」



▼詳しくはコチラ



Point

計算力のアップを目指し、くり返し練習しましょう。

⑨ とけい(1)

(1) 時計を読みます。



9時

- 短い針(黒)は9をさしている。
- 長い針(赤)は12をさしている。



9時半

- 短い針(黒)は9と10の間をさしている。
- 長い針(赤)は6をさしている。

(2) 時計の針を合わせます。



Point

1日の生活に関連づけながら、
時計を読みましょう。



起床



朝食



昼食



おやつ



⋮



2じはん?
3じはん?



▼詳しくはコチラ



レバーを上げると、
「時」が表示されます。
※児童の理解度に応じて活用してください。



2じはん!



先生のお悩み
ホットライン



先生

「何時」を読むとき、
間違っ隣接する
数字を読んでしまう
児童がいます...

ふんけいの時計は
左上の黄色のレバー
を上げると、「時」
が表示されます。短
針がさす数字を見
れば、正確な「時」
を読み取れます。



ふんけいサポーター

⑱ とけい(2)

(1) 時計を読みます。



●長針を1分ずつ進めて読みましょう。



●長針を5分ずつ進めて読みましょう。



●長針を不規則に進めて読みましょう。

(2) 時計の針を合わせます。



3時28分

先生のお悩み
ホットライン

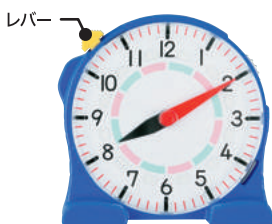


「何分」を読むとき、間違っ
て「時」を表す数字を読ん
でしまう児童がいます…

ふんけいの時計は左上の黄色の
レバーを上げると、「分」が表
示されます。長針がさす数字を見れば、
正確な「分」を読み取ることが
できます。



ふんけいサポーター



8じ2ふん?



Point

長針の色と分の表示色は、
どちらも赤であることを
示すと、分かりやすいです。



レバーを上げると、「分」が表示されます。
※児童の理解度に応じて活用してください。



8じ10ぶん!



▼詳しくはコチラ



番外 2年生～の学習

先生のお悩み
ホットライン



時間の経過を考える
学習で、経過前の時刻
が分からなくなっ
てしまう児童がいます…

ふんけいの時計には
専用の学習針(別体)
が付いています。こ
れをレンズにつけ
ば、目で経過前と
経過後の時刻を確
認できます!



ふんけいサポーター

学習針



吸盤

時計のレンズに
つけて使います。

▼詳しくはコチラ



学習針ははじめの時刻に
合わせて装着する。



学習針を装着した状態

時計本体の針を進める。



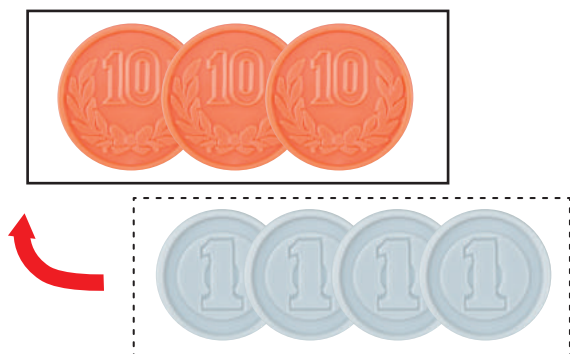
読み取る。



15分

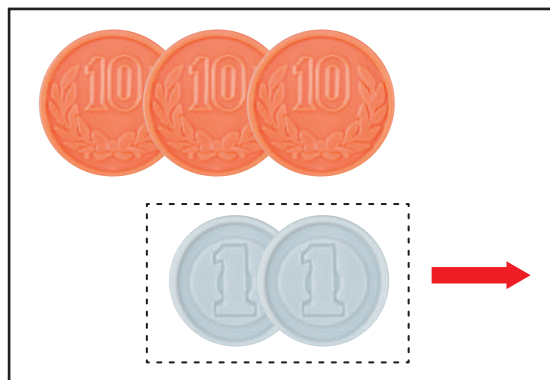
⑰ 大きい かず

(1) 「30+4」の計算のしかたについて考えます。



$$30 + 4 = 34 \quad \underline{34 \text{ 円}}$$

(2) 「32-2」の計算のしかたについて考えます。

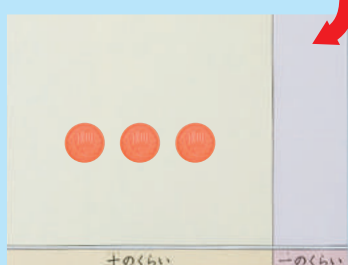


$$32 - 2 = 30 \quad \underline{30 \text{ 円}}$$

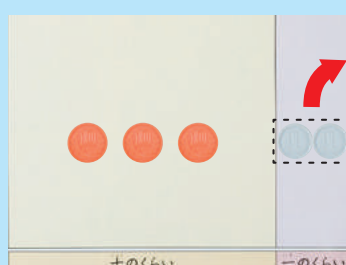
Point

お金の種類ごとに計算するようにしましょう。位取り台紙を使うと分かりやすいです。

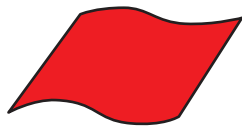
「30+4」の計算



「32-2」の計算



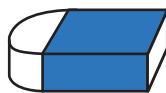
100円でどんな買い物ができるか、10円玉を10枚使って考えましょう。



いろがみ
20円



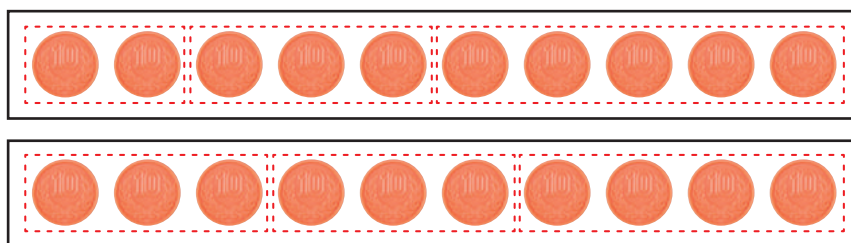
えんぴつ
30円



けしごむ
40円



ペン
50円



Point

いろいろな買い方が
あることを分かるよう
にしましょう。

さいころ

単元

③いくつといくつ

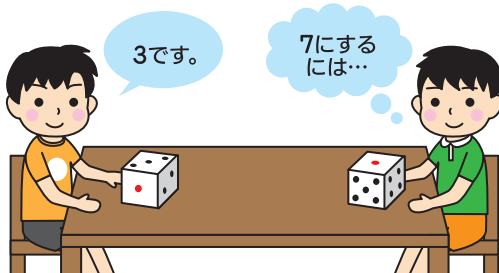
積木

単元

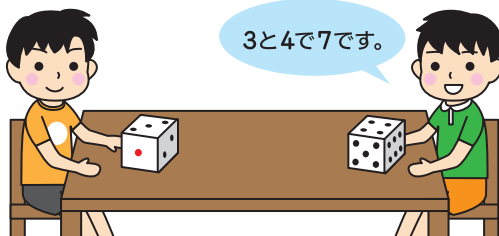
④いろいろな かたち

③ いくつと いくつ

さいころを使い、2人1組で「7」にします。



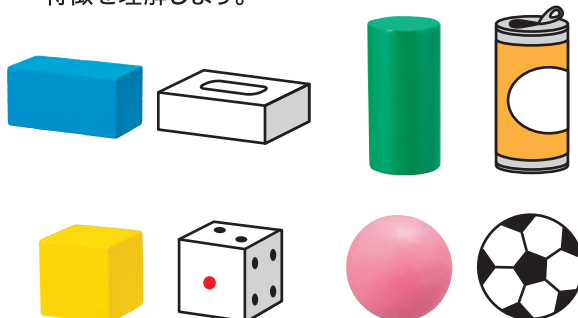
1人がさいころを振り、出た目をもとに、あといくつで「7」になるかを考えます。



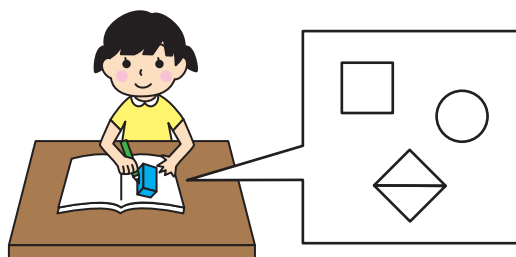
もう1人は「7」になる目を答えましょう。

④ いろいろな かたち

(1)身の回りの似ている形を対応させ、それぞれの特徴を理解します。

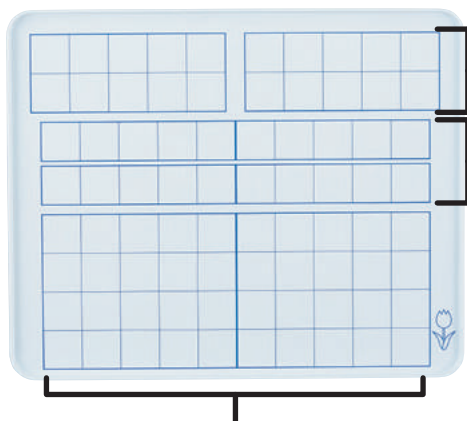


(2)形をうつしましょう。



学習板

学習板のマス目を使えば、様々な学習ができます。



10までの数を確認できます。



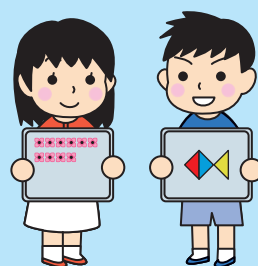
数の比較ができます。



身の回りの物を置いて、長さを調べられます。

Point

ブロック、おはじき、色板をくっつけられます。
並べた様子を提示したり、
周りの子ども同士で
見せ合ったりしましょう。



単元と各教材の対応表(啓)

●:主要教材(マニュアル掲載) ◎:主要教材 ○:代替・補助教材

			おはじき	数図ブロック	数字・数図カード	数え棒	色板	計算カード	時計	お金	さいころ	積木	学習板	dLケース	ファイルセット
No.	単元名	ページ	1	2~4	5・6	7・8	8	9・10	11・12	13	14	14	14	—	—
●	導入		●	●		○							○		
①	かずと すうじ		●	●	●	○							○		
②	なんばんめ		●	●									○		
③	いくつと いくつ		●	●	●	○					●		○		
④	いろいろな かたち										◎	●			
⑤	ふえたり へったり		○	◎		○							○		
⑥	たしさん(1)		○	●	●	○		●					○		○
⑦	ひきさん(1)		○	●	●	○		●					○		○
⑧	20までの かず		○	●	●	○							○		◎
⑨	とけい(1)								●						
⑩	おおきさくらべ(1)												○	○	○
⑪	3つの かずの けいさん		○	●	○	○							○		
⑫	たしさん(2)		○	●	◎	○		●					○		○
⑬	かたちづくり					●	●						○		
⑭	ひきさん(2)		○	●	◎	○		●					○		○
⑮	0の たしさんと ひきさん		○	○		○							○		
⑯	ものと ひとの かず		○	○		○							○		
⑰	大きい かず		○		●	●				●					●
⑱	とけい(2)								●						
⑲	100までの かずの けいさん					●									
⑳	おなじ かずずつ		○	◎		○							○		
㉑	おいしい ほう すくない ほう		◎	◎		○							○		
㉒	大きさくらべ(2)				●										

※セットの種類によっては、入っていない教材もございます。ご了承ください。

※印刷の都合により、実物と多少色が異なることがあります。

※諸事情により、掲載の教材はやむをえず材質・規格・色等の変更をする場合があります。